

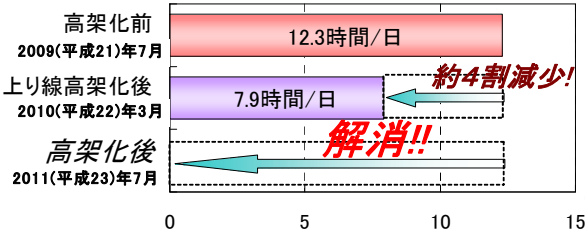


# 池袋線（石神井公園駅付近）の高架化による効果

## 自動車交通が円滑化！

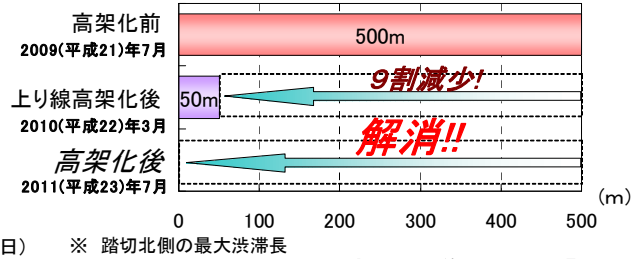
### ○踏切の遮断が解消

踏切6カ所の平均遮断時間の変化



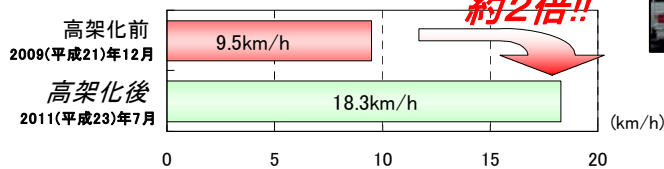
### ○富士街道の渋滞が解消

石神井公園第1号踏切の遮断による渋滞長\*の変化



### ○富士街道の平均旅行速度が向上

混雑時\*1の平均旅行速度\*2の変化



\*1 朝または夕方のラッシュ時間帯    \*2 谷原→石神井学園前間の自動車の平均旅行速度

### 【富士街道の状況】

高架化後

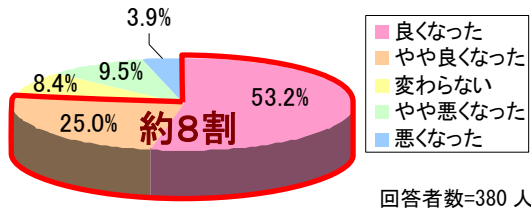


高架化前

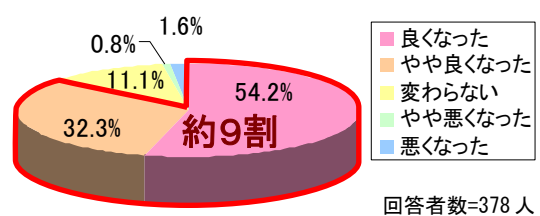


## ご利用のお客さまも効果を実感！

### ○駅の出入口から改札までの行きやすさについて



### ○待合室など列車待ち施設の充実について



## ※池袋線の高架複々線化について

池袋線の高架複々線化工事については、1971年の都市計画決定以来、東京都、練馬区などと協力して工事を進め、2003年3月に、桜台駅(新桜台駅)～練馬高野台駅間が完成しました。

石神井公園駅付近については、2003年4月、国から連続立体交差事業の新規着工の採択を受け、2005年6月、大泉学園駅付近まで高架化を延伸する都市計画が決定されました。その後、関係機関との手続きを進め、2007年8月に工事を着手しました。

この事業が完成すると、線路の高架化により合計9カ所の踏切がなくなり、踏切事故や交通渋滞の解消が図れます。また、石神井公園駅においてはホーム2面、線路4線化されたホームとなり、上り・下りホームそれぞれで急行電車と普通電車の待ち合わせができるようになり、お客さまの利便性が向上します。

以上